



平成12年度 入間市水道事業報告（総括事項）

業務概況

本年度は、降雨に恵まれたため、年間を通して安定給水を図ることができました。年度末における給水戸数は55,649戸、給水人口は、147,710人となり、総配水量は18,422,927立方メートルで前年度に比べ208,359立方メートル（1.12%）の減少となりました。有収水量については、16,907,813立方メートルで前年度に比べ76,612立方メートル（0.45%）減少いたしましたが、有収率は、前年度より0.62%向上し91.78%を確保することができました。

収益的収入・支出

財政状況については、事業収益が3,198,253,125円で予算現額3,146,988,000円に対して101.63%の執行率となりました。このうち水道事業の主財源となる給水収益は、2,873,635,051円（89.85%）と前年度に比べ8,059,711円の減となりました。

一方、事業費用については、3,056,023,502円で予算現額3,082,548,000円に対し99.14%の執行率となりました。このうち主な費用として、県営水道の受水費（37.03%）や減価償却費（23.18%）が挙げられます。

以上の結果、当年度純利益として127,151,162円を計上することができました。

資本的収入・支出

将来における安定給水の確保とともに、災害に強い水道の実現に向けた施設の整備拡充を目的とする資本的収入・支出では、配水管の新設及び公共関連事業に伴う配水管布設替え等を中心とした事業に加え、第四期拡張事業の主要事業であった藤沢配水場に関連する送水管布設工事を実施いたしました。

執行状況については、収入額が575,073,810円で、予算現額554,407,000円に対して103.73%の執行率となり、支出額は913,037,741円で予算現額960,429,000円に対して95.07%の執行率となりました。

以上、本年度計画した事業については、概ね順調に進捗いたしましたが、一部工事については、関連する公共工事の影響により年度内に完成することができず、翌年度へ繰越措置を

行いました。





平成12年度入間市水道事業損益計算書

平成12年度入間市水道事業損益計算書

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,736,853,328		
	(2) その他の営業収益	282,195,786	3,019,049,114	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	73,728,071		
	(2) 配水費	1,497,367,353		
	(3) 給水費	143,371,843		
	(4) 委員会費	1,633,650		
	(5) 業務費	116,841,061		
	(6) 総係費	104,575,217		
	(7) 減価償却費	677,301,256		
	(8) 資産減耗費	83,167,930		
	(9) その他の営業費用	12,170	2,697,998,551	
	営業利益			321,050,563
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	7,638,320		
	(2) 補助金	415,000		
	(3) 雑収益	21,959,170	30,012,490	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	221,422,476		
	(2) 雑支出	1,322,100	222,744,576	-192,732,086
	経常利益			128,318,477
5	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	1,167,315	1,167,315	-1,167,315

損益計算書 (H12)

(1) 過年度損益修正預

	1,167,315	1,167,315	-1,167,315
当年度純利益			127,151,162
前年度繰越利益剰余金			106,993,135
当年度未処分利益剰余金			234,144,297





平成12年度入間市水道事業貸借対照表

平成12年度入間市水道事業貸借対照表
(平成13年 3月31日)
資 産 の 部

(単位 円)

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ	土	地			1,429,056,054
ロ	建	物	1,220,971,949		
	減価償却累計額		901,827,018	919,144,931	
ハ	構	築	18,885,782,415		
	減価償却累計額		4,567,098,793	14,318,683,682	
ニ	機	械	9,559,163,258		
	減価償却累計額		1,802,267,341	1,756,895,917	
ホ	車	両	46,526,373		
	減価償却累計額		37,942,886	8,583,487	
ヘ	工	具	33,765,890		
	減価償却累計額		26,970,563	6,795,327	
ト	建	設	53,125,480		
	有形固定資産合計			18,492,284,878	

(2)無形固定資産

イ	電	話	加	入	権
					454,086
	無形固定資産合計				454,086
	固定資産合計				18,492,738,964

2 流動資産

(1)	現	金	預	金	2,812,161,165
(2)	未	収	金		56,807,134
(3)	貯	蔵	品		26,801,556
(4)	前	払	費	用	5,860
(5)	その他の流動資産				2,000,000
	流動資産合計				2,896,775,715
	資産合計				21,389,514,679

負債の部

3 固定負債

(1) 引当金

イ 修繕引当金

54,830,000

固定負債合計

54,830,000

4 流動負債

(1) 未払金

221,749,518

(2) 預り金

72,080,285

流動負債合計

293,829,803

負債合計

348,159,803

資本の部

5 資本金

(1) 自己資本金

1,770,996,225

(2) 借入資本金

イ 企業債

5,775,336,540

借入資本金合計

5,775,336,540

資本金合計

7,546,332,765

6 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 受贈財産評価額

980,413,894

ロ 寄附金

2,200,370,950

ハ 浄水分与補償金

1,980,000

ニ 工事負担金

200,235,153

ホ 他会計負担金

4,808,737,886

ヘ 水道利用加入金

4,740,639,931

ト 国庫補助金

22,500,000

資本剰余金合計

12,954,877,814

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金

156,000,000

ロ 建設改良積立金

150,000,000

ハ 当年度未処分利益剰余金

234,144,297

利益剰余金合計

540,144,297

剰余金合計

13,495,022,111

資本合計

21,041,354,876

負債資本合計

21,389,514,679



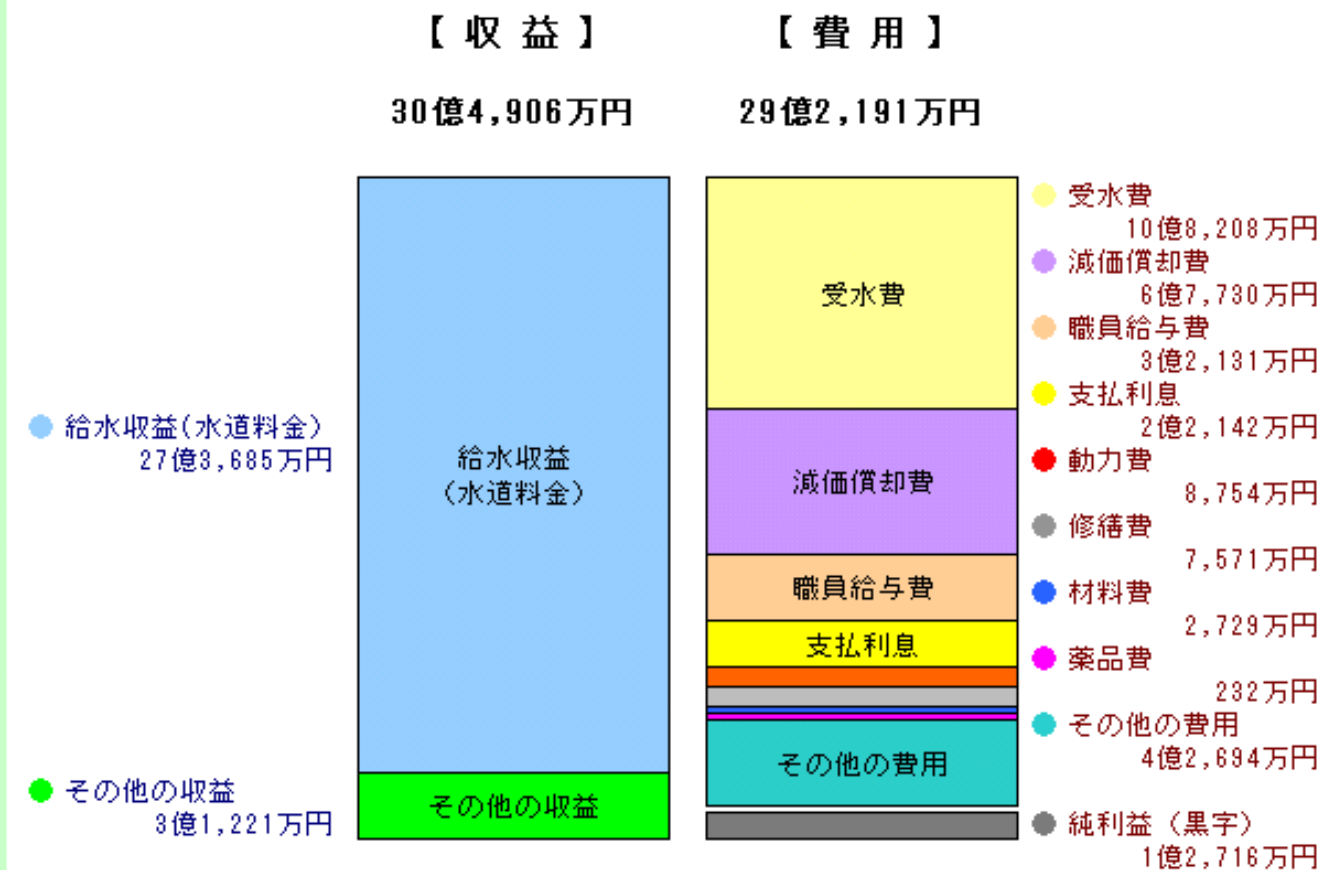


収益的収支の状況 (損益計算に関する収支の状況) 【税抜き】

収益的収支とは・・・

収益的収支とは、予算事項のひとつである収益的収入及び支出で、水道事業の経営活動によって発生する収入とこれに対応する支出をいいます。

収益的収入及び支出は、消費税込みで表示されますが、実質的な経営成績を表示するため、ここでは消費税抜きの金額である収益、費用を計上しました。

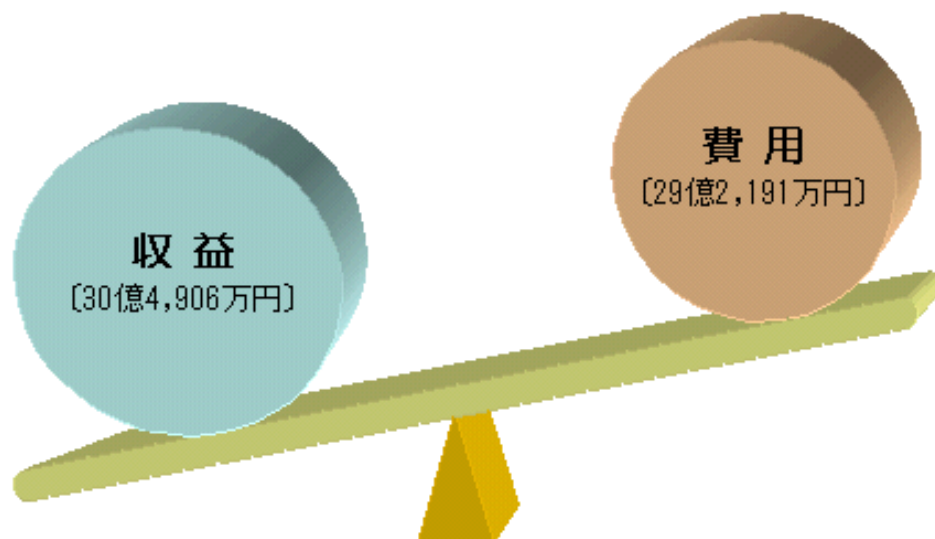


収益とは…

- ・水道事業の経営活動から生じる収入。
- ・水道料金の収入（給水収益）が大部分を占めています。

費用とは…

- ・収益を得るために必要となった支出。
- ・人間市では受水費と減価償却費の割合が高くなっています。



損益収支

平成12年度決算は 約 1億 2,716万円の黒字となりました。

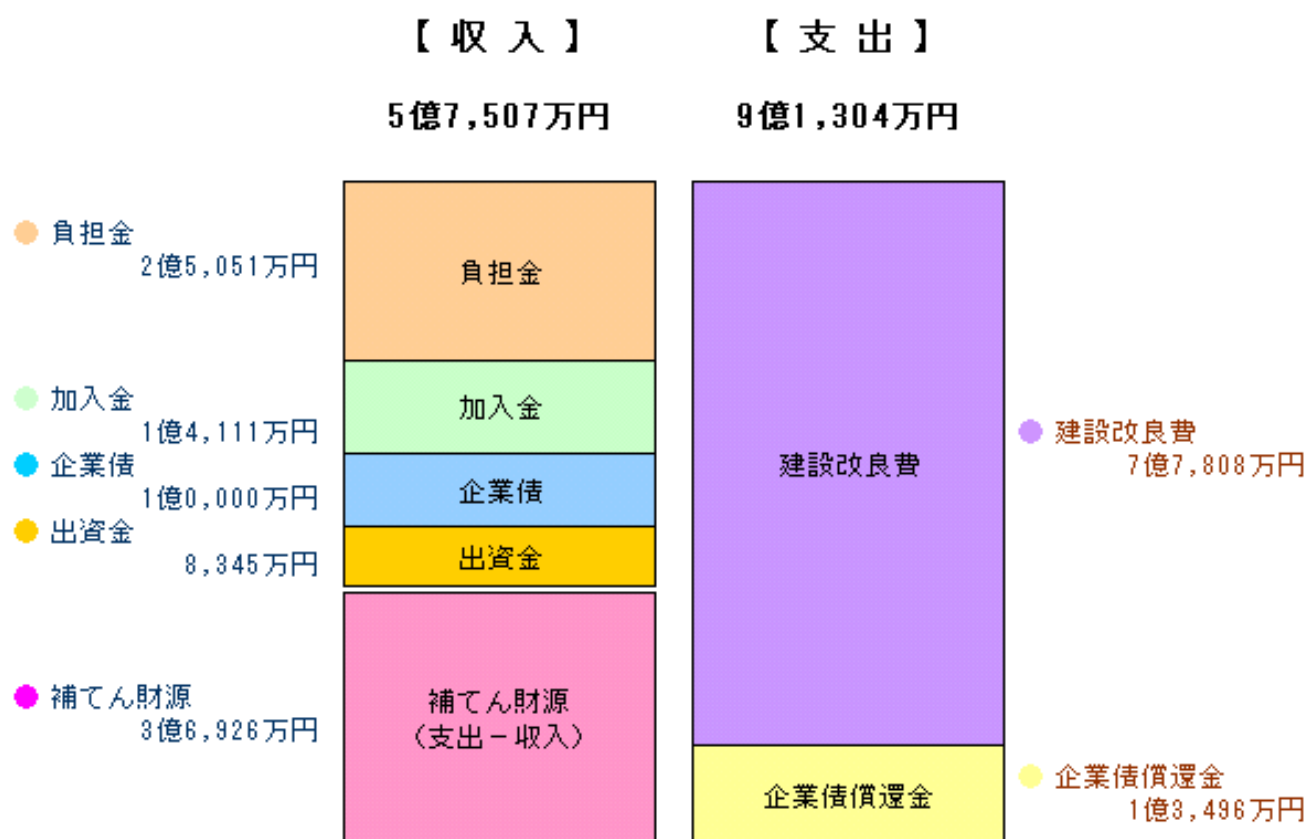




資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込み】

資本的収支とは・・・

資本的収支とは、予算事項のひとつである資本的収入及び支出で、将来における経済活動に備えて行う建設改良やこの建設改良に係る企業債の償還元金等の支出と、その財源となる収入を表しています。

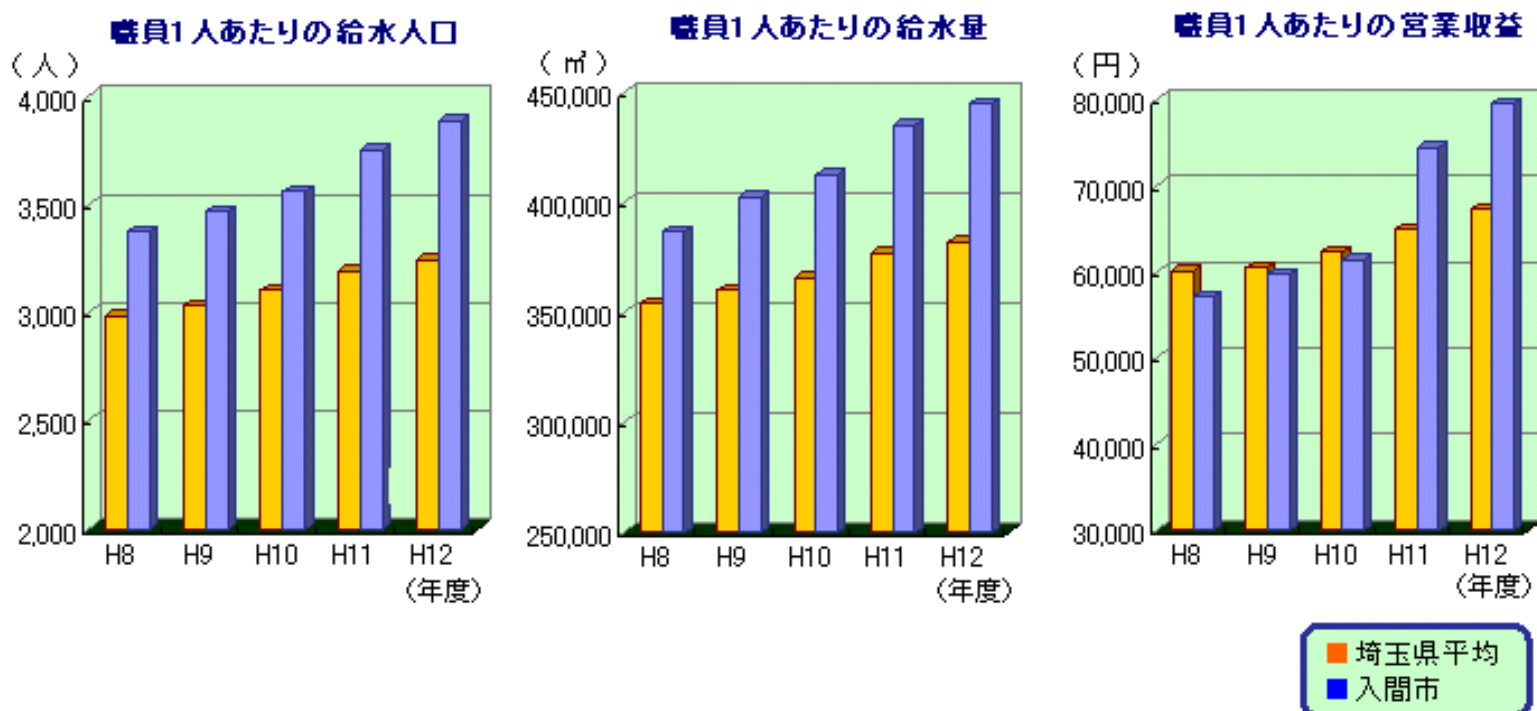




職員1人あたりの生産性 (埼玉県平均と比較)

入間市と県平均を比べると・・・

水道部では、事業の効率的な運営に努めておりますが、これを表す指標として職員1人あたりの給水人口、給水量及び営業収益をグラフ化してみました。



職員1人あたりの給水人口、給水量、営業収益（主に水道料金収入）のいずれも県平均を上回っています。このことは、職員1人あたりの生産性が高いことを表しています。





給水人口と年間配水量

給水人口とは・・・

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。

年間総配水量とは・・・

水道部の配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をいいます。

給水人口と年間配水量の推移





総配水量・有収水量・有収率

総配水量とは・・・

水道部の配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をあらわしています。

有収水量とは・・・

お客様のご家庭や工場で使用され、料金収入を得ることのできた水量をあらわしています。

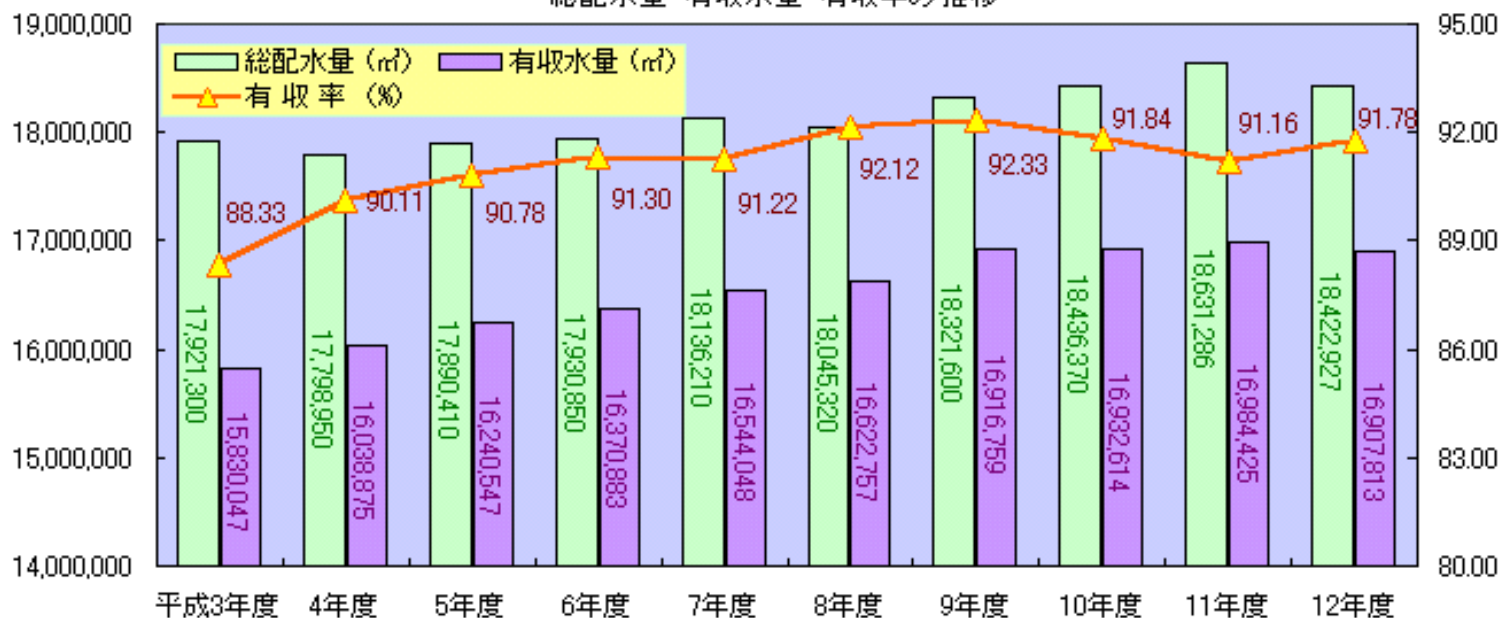
有収率とは・・・

有収率 = 有収水量 ÷ 総配水量 × 100

水道水全体のうち、有収水量の率をあらわすものです。

料金収入にならない水は、水道事業用に使われた水や漏水などが該当します。

総配水量・有収水量・有収率の推移

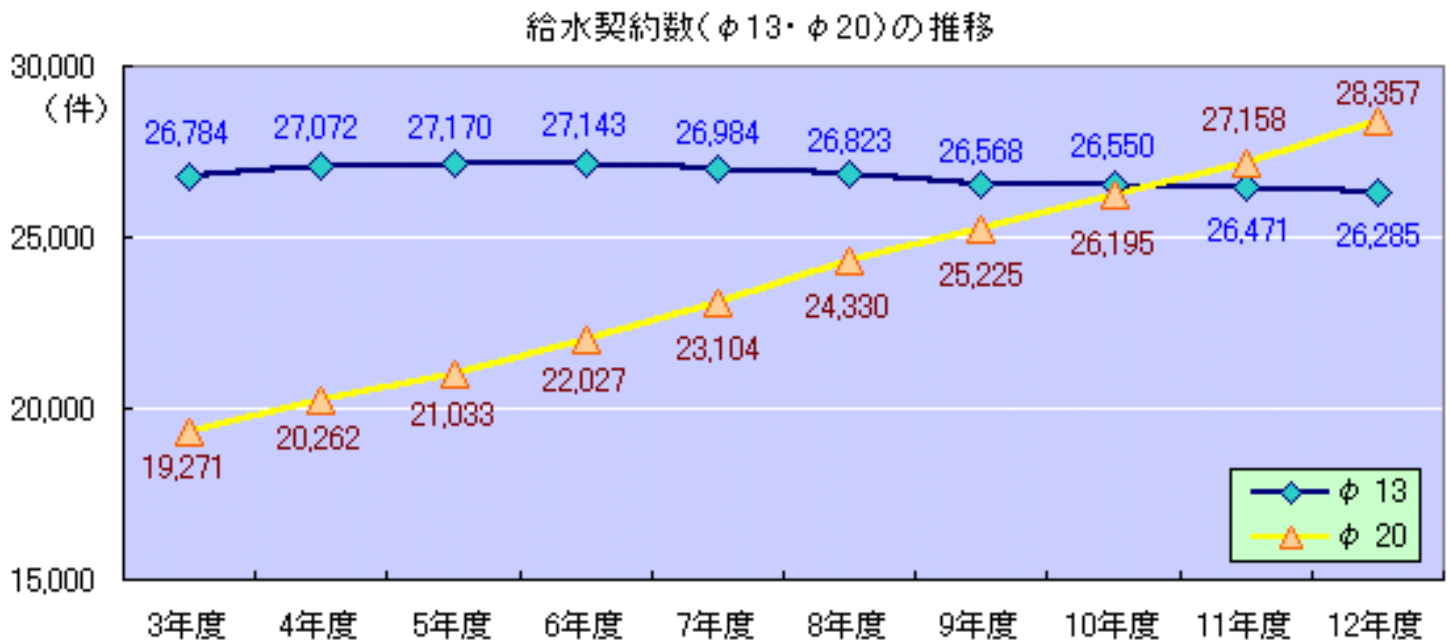




給水契約数（口径別）

口径 13mm と 20mm の給水契約数の推移

一般家庭が主に使用している量水器の口径は、13mmと20mmです。最近では20mmの契約者が増加傾向にあります。



口径別給水契約数の推移

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
φ 13	26,784	27,072	27,170	27,143	26,984	26,823	26,568	26,550	26,471	26,285
φ 20	19,271	20,262	21,033	22,027	23,104	24,330	25,225	26,195	27,158	28,357
φ 25	546	566	586	573	588	590	613	632	635	634
φ 30	74	76	75	76	87	96	96	95	102	103
φ 40	109	109	108	110	107	104	109	112	106	108
φ 50	50	52	51	52	49	51	48	47	44	42
φ 75	77	77	76	76	79	76	73	74	74	75
φ 100	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11
その他	34	31	27	42	52	48	34	31	33	34
合計	46,955	48,255	49,137	50,110	51,061	52,129	52,777	53,747	54,634	55,649





給水原価と供給単価

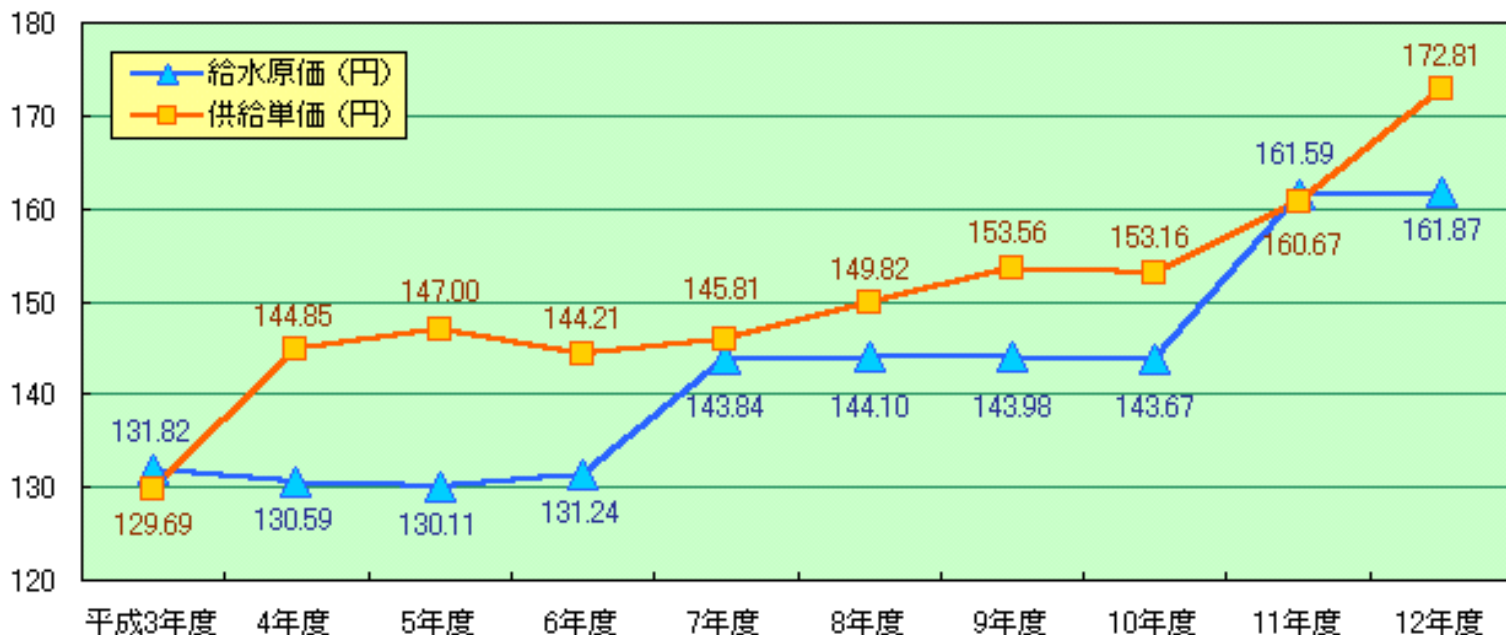
給水原価とは・・・

お客様にお届けする水道水1立方メートルあたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表しています。

供給単価とは・・・

お客様にお届けした水道水1立方メートルあたりについて、どれだけ収益を得ているかを表しています。

給水原価と供給単価の推移







損益収支 (費用と収益)

損益収支とは・・・

水道事業の経営活動により生じた収益と費用をあらわします。

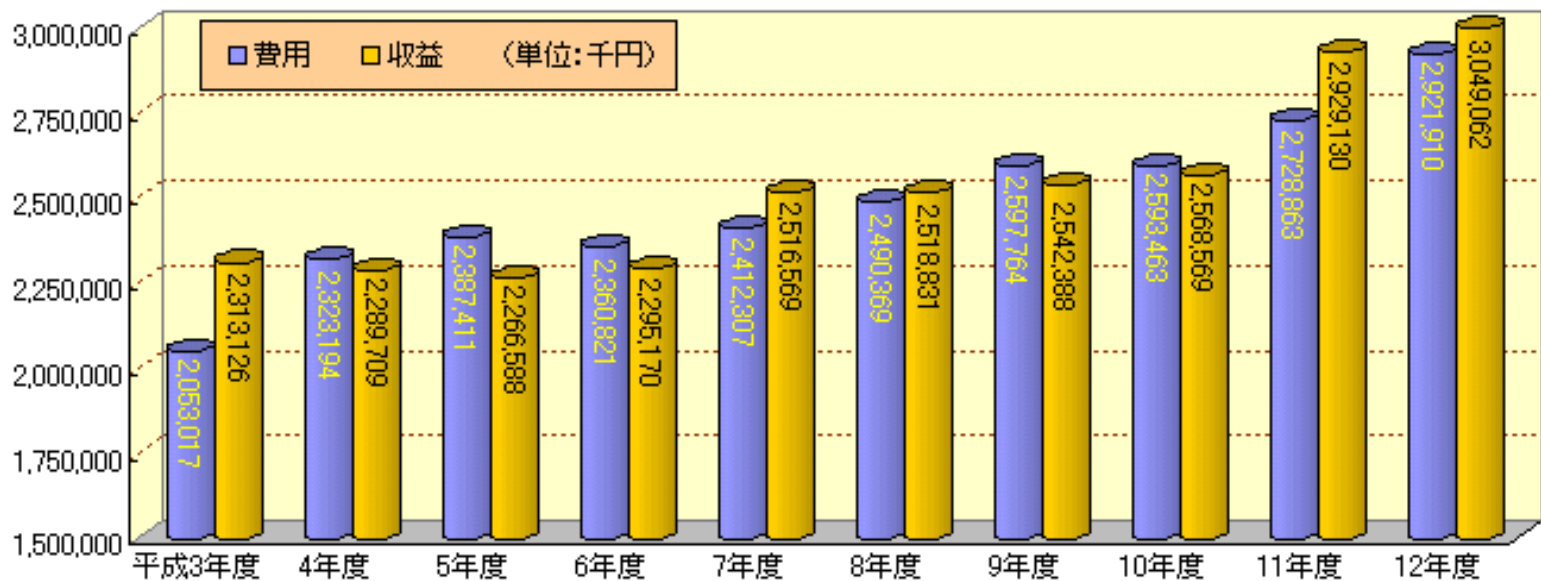
収益とは・・・

水道事業の経営活動から生じる収入です。

費用とは・・・

収益を得るために必要となった支出です。

収益と費用の推移



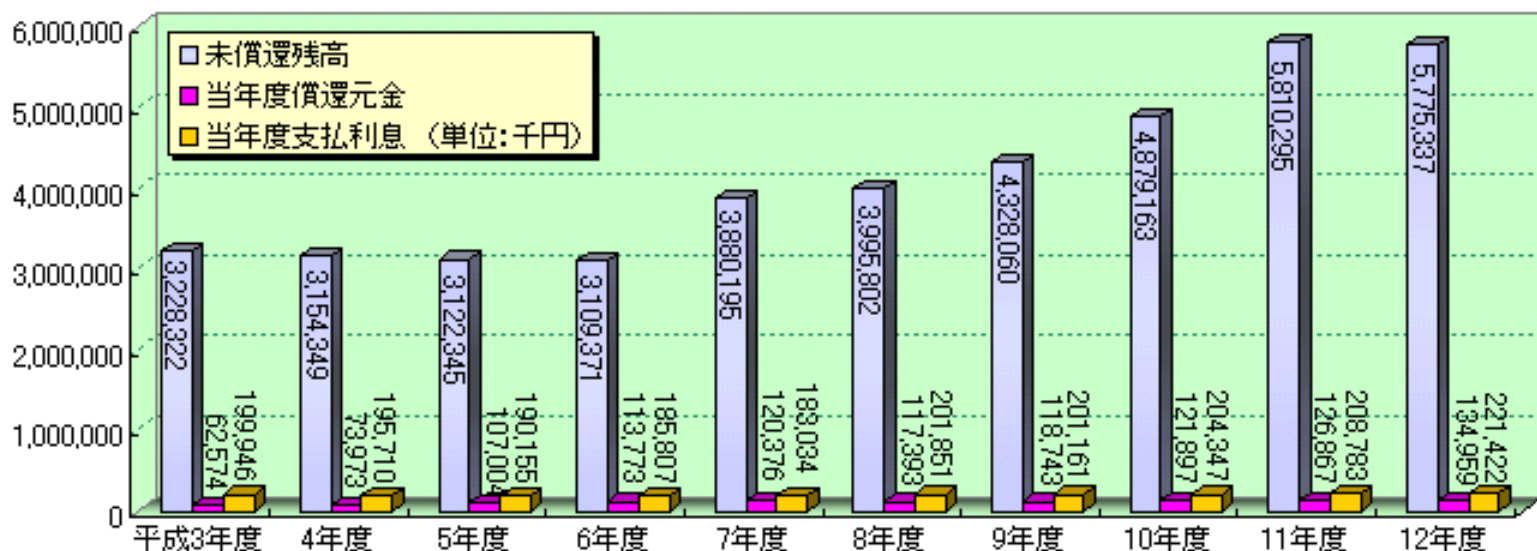


企業債（借入資金）

企業債（借入資金）とは・・・

水道施設を新たに建設したり、配水管を布設するなどの建設改良事業に要する資金に充てるために借りるお金のことをいいます。

企業債(借入資金)の推移



未償還残高とは・・・

年度末において、まだ返済していない借入金の合計残高のことをいいます。

当年度償還元金とは・・・

その年度に返済した元金のことをいいます。

当年度支払利息とは・・・

その年度に支払った借入金の利息のことをいいます。

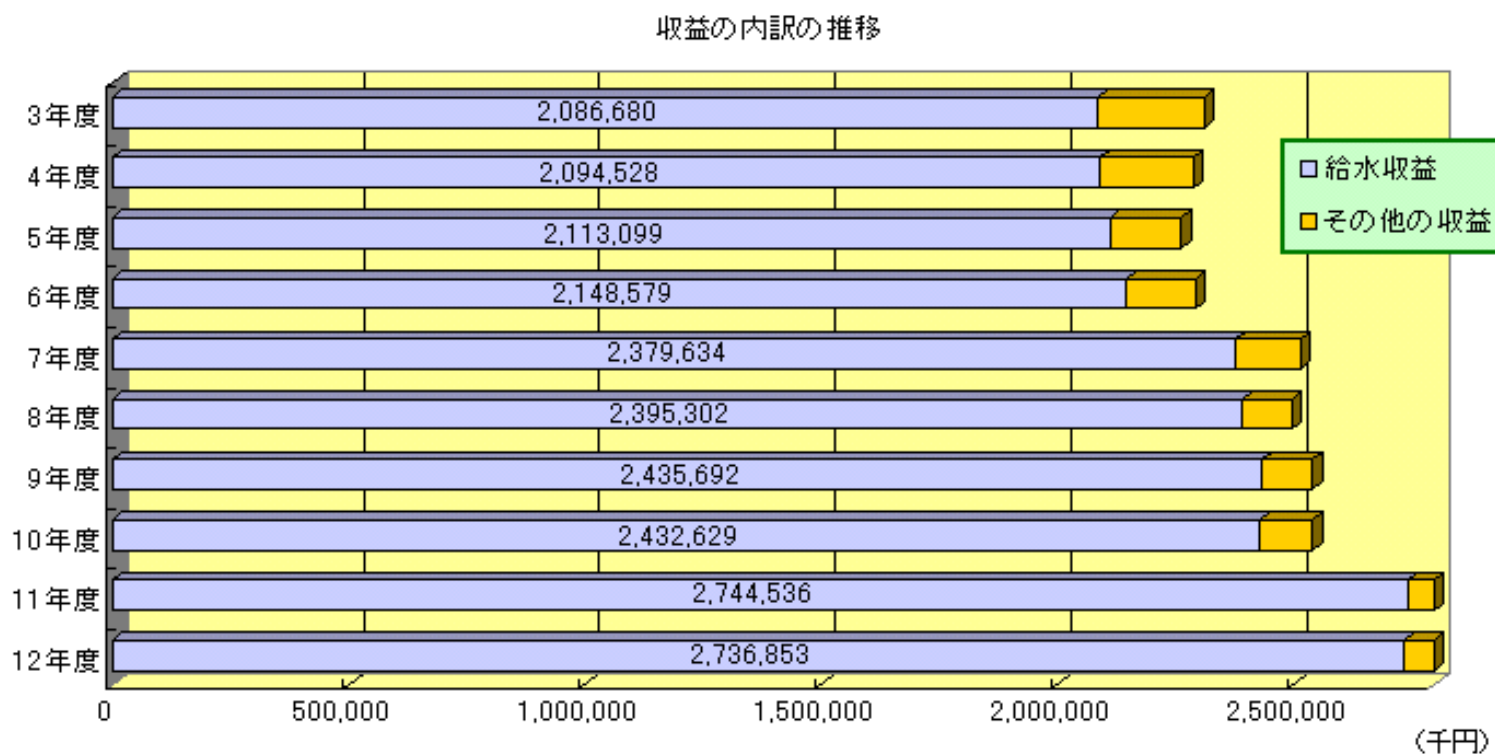




収益の内訳

収益の内訳

総収益に対する主な収益の構成は下のグラフのとおりです。



収益の詳細

[給水収益 \(水道料金収入\)](#)

[その他の収益](#)



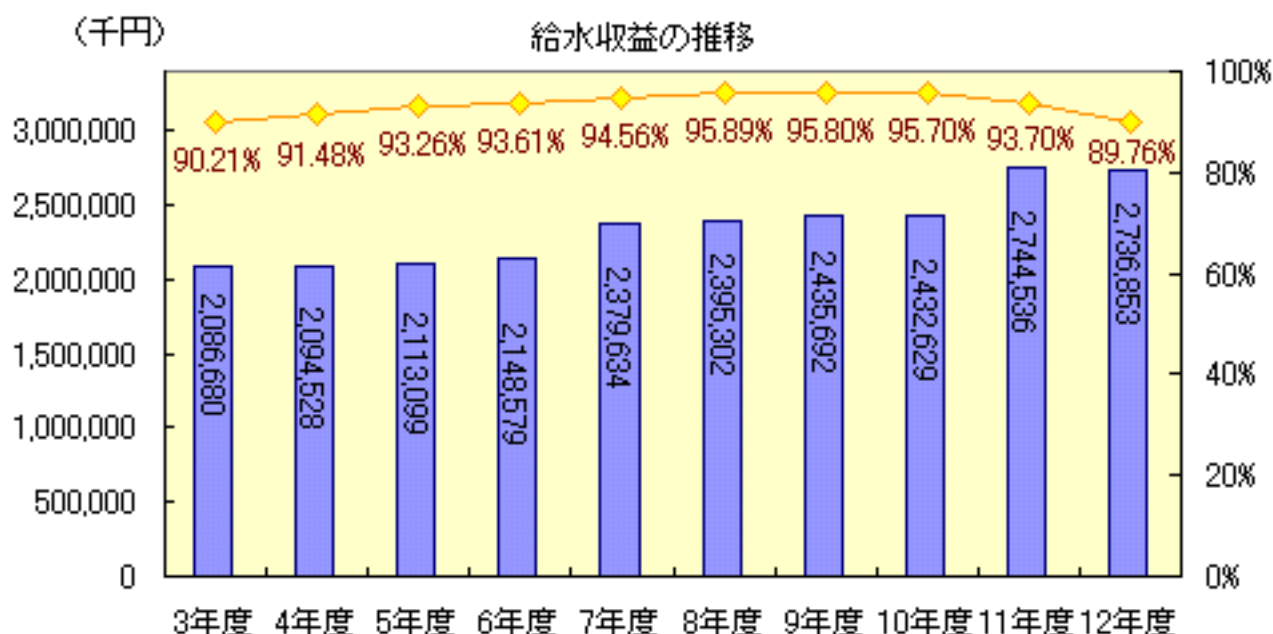


給水収益（水道料金収入）

給水収益（水道料金収入）とは・・・

給水収益とは、使用者のみなさまからお支払いただく水道料金のことをいいます。この水道料金によって水道水を供給する施設の改良や維持のための諸経費がまかなわれ、水道事業が成り立っています。

給水収益の金額が上昇しているにもかかわらず給水収益の割合が下がる傾向にありますが、これは給水収益以外の収益（主に水道利用加入金）の影響を受けているためです。



棒グラフが各年度の「給水収益」の金額（単位 千円）を表しています。
線グラフが各年度の「全収益」に対する「給水収益」の割合（%）を表しています。





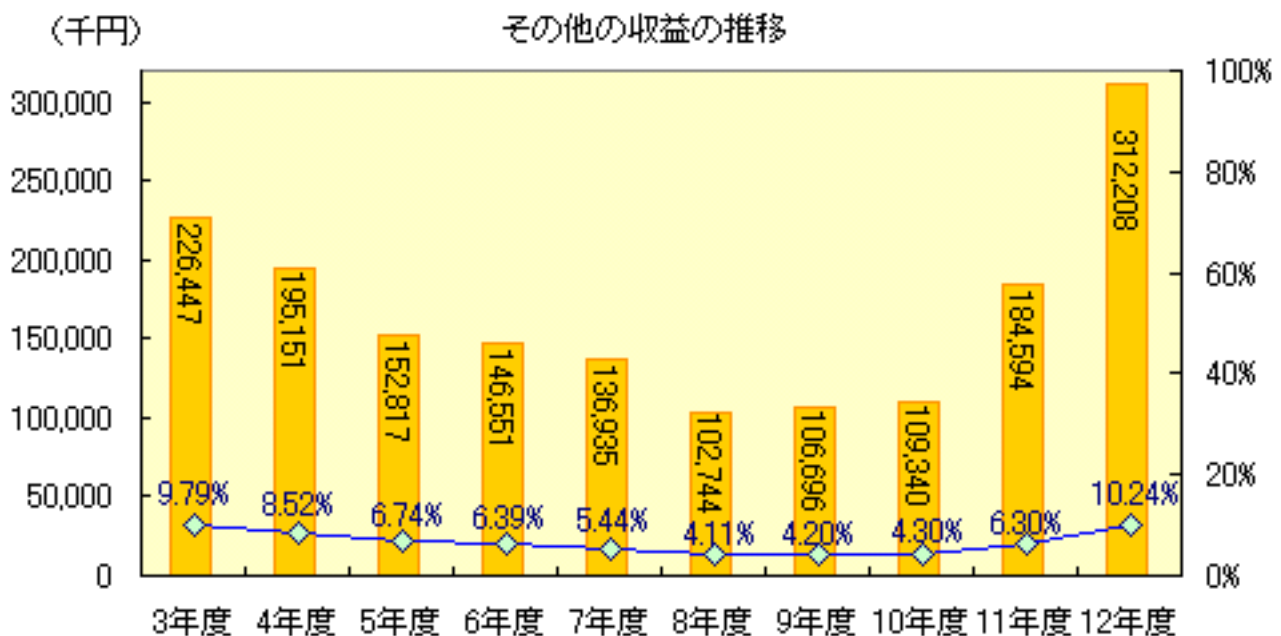
その他の収益

その他の収益とは・・・

給水収益（水道料金収入）以外の収益で、水道利用加入金や手数料などがあります。

平成11年度の料金改定の際に料金の値上げ幅を小さくするため、いままで資本的収入としていた水道利用加入金の60%を収益的収入としました。その結果、「その他の収益」が11年度から伸びています。

また水道利用加入金は、開発の状況により大きく増減しますので、収益全体に影響があります。



棒グラフが各年度の「その他の収益」の金額（単位 千円）を表しています。
 線グラフが各年度の「全収益」に対する「その他の収益」の割合（%）を表しています。

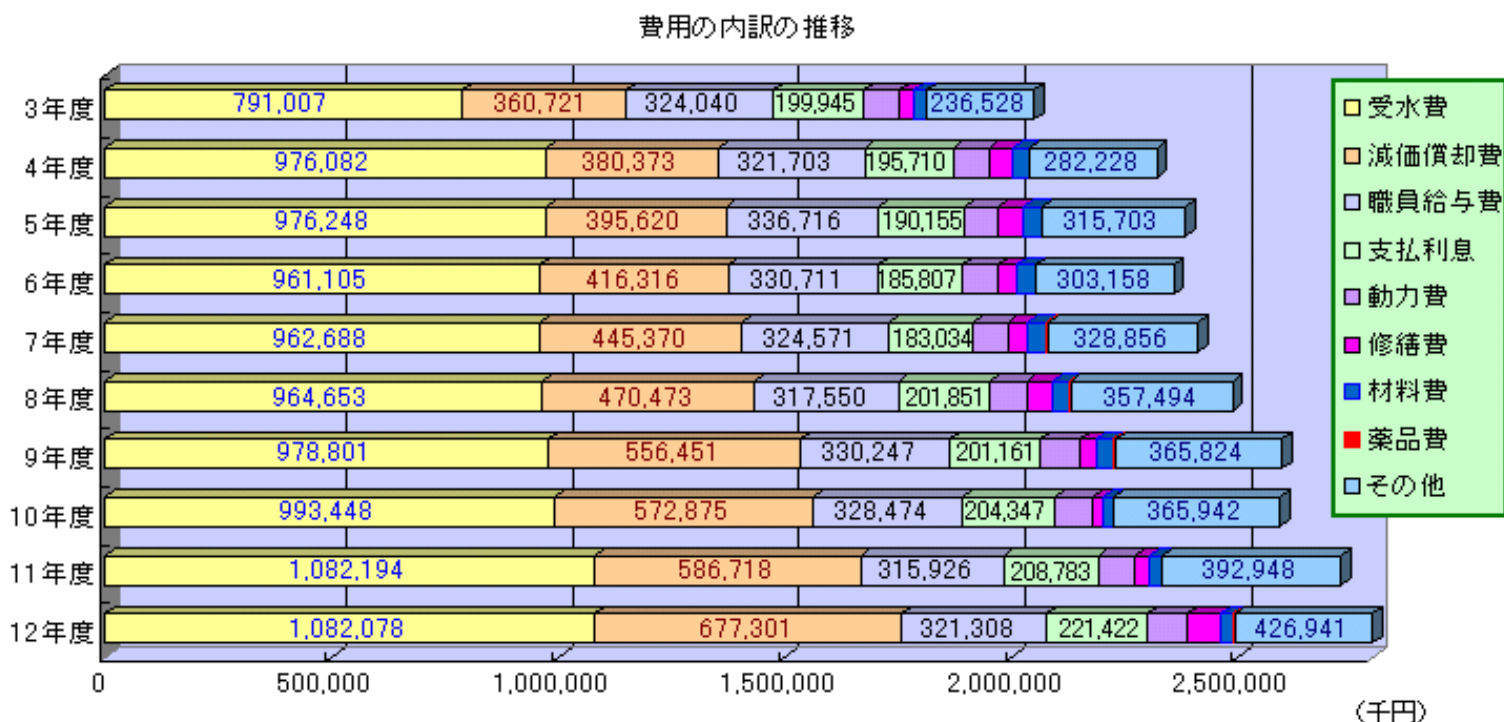




費用の内訳

費用の内訳

総費用に対する主な費用の構成は下のグラフのとおりです。



各費用の詳細

- 受水費
- 減価償却費
- 職員給与費
- 支払利息
- 動力費
- 修繕費

 [材料費](#)

 [薬品費](#)

 [その他の費用](#)





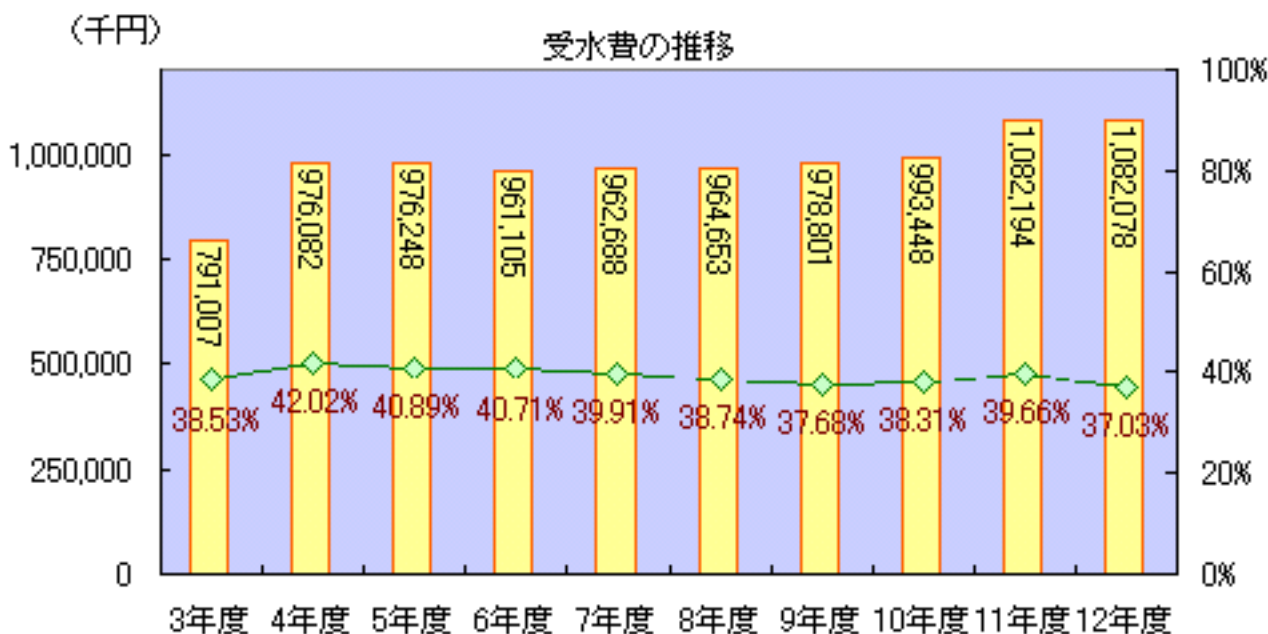
受水費

受水費とは・・・

埼玉県営水道から買った水道水の代金のことをいいます。

入間市では、お客様にお届けしている水道水の大部分（90%以上）が埼玉県から買った水で占められています。

他市と比べ水源が少なく、県水（埼玉県がつくる水）への依存度が高いといえます。



棒グラフが各年度の「受水費」の金額（単位 千円）を表しています。

線グラフが各年度の「全費用」に対する「受水費」の割合（%）を表しています。





減価償却費

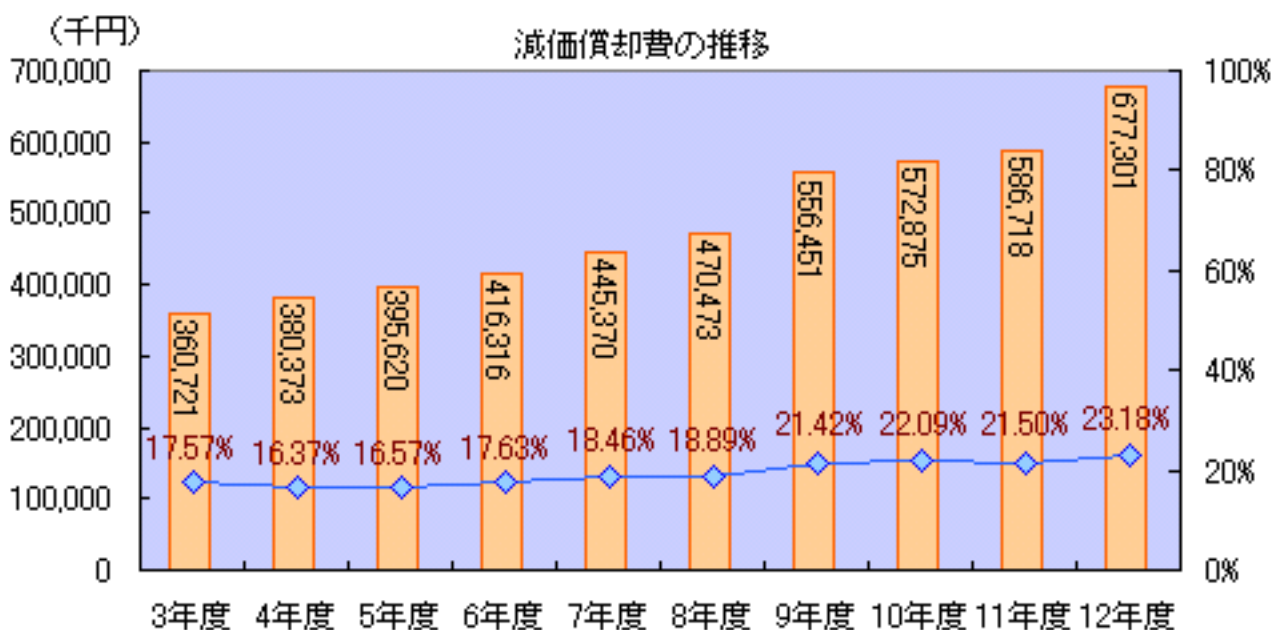
減価償却費とは・・・

水道事業を経営するためには、配水タンクや配水管、機械設備など設備投資に莫大な費用がかかります。

減価償却費は、この水道設備等の寿命に応じて費用とするものです。

入間市は、起伏に富んだ地形のため、お客様のお宅に水を送るためには、常に機械的に水圧をかけ続けなければなりません。このため、平坦な地形の他市町村に比べ、水道設備がより多く必要になる傾向があります。

また、入間市の水道事業が、町村合併を経て、低い地域（鍵山浄水場）から次第に高い地域へ拡大普及していったことも設備投資の増大を招く大きな要因になっています。



棒グラフが各年度の「減価償却費」の金額（単位 千円）を表しています。
線グラフが各年度の「全費用」に対する「減価償却費」の割合（%）を表しています。

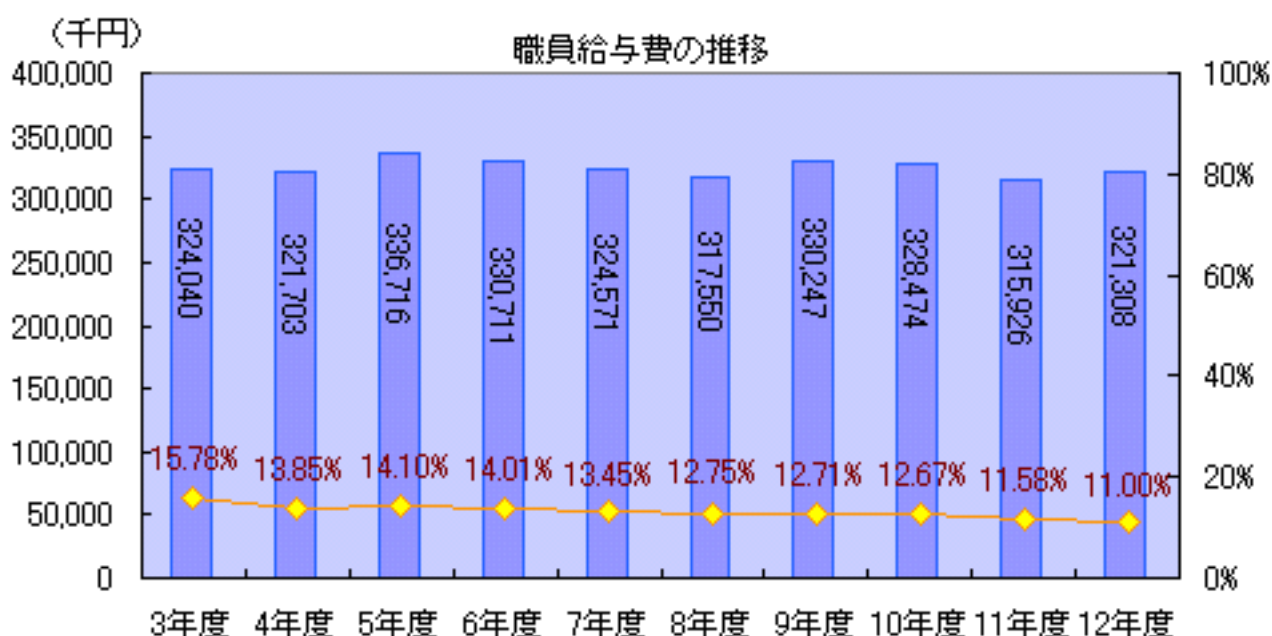




職員給与費

職員給与費とは・・・

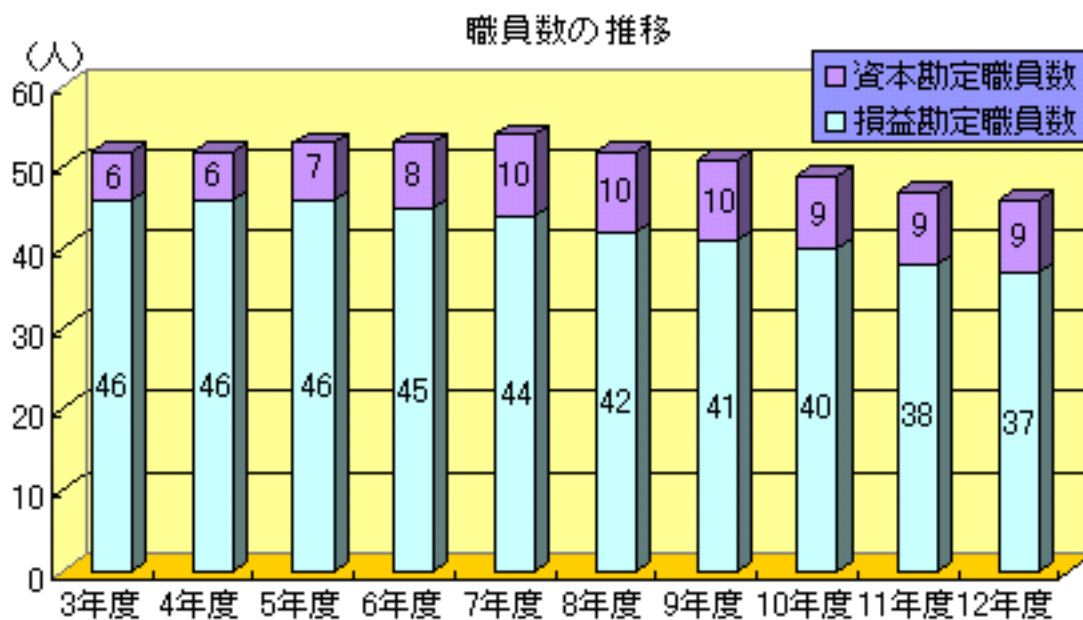
職員に支給される報酬を給与といい、給料と諸手当から構成されています。



棒グラフが各年度の「職員給与費」の金額（単位 千円）を表しています。
線グラフが各年度の「全費用」に対する「職員給与費」の割合（%）を表しています。

職員数の推移

水道部では事業効率化のため、人件費の抑制に努めています。



職員給与費の数値は、損益勘定職員に対する給与費を表しています。

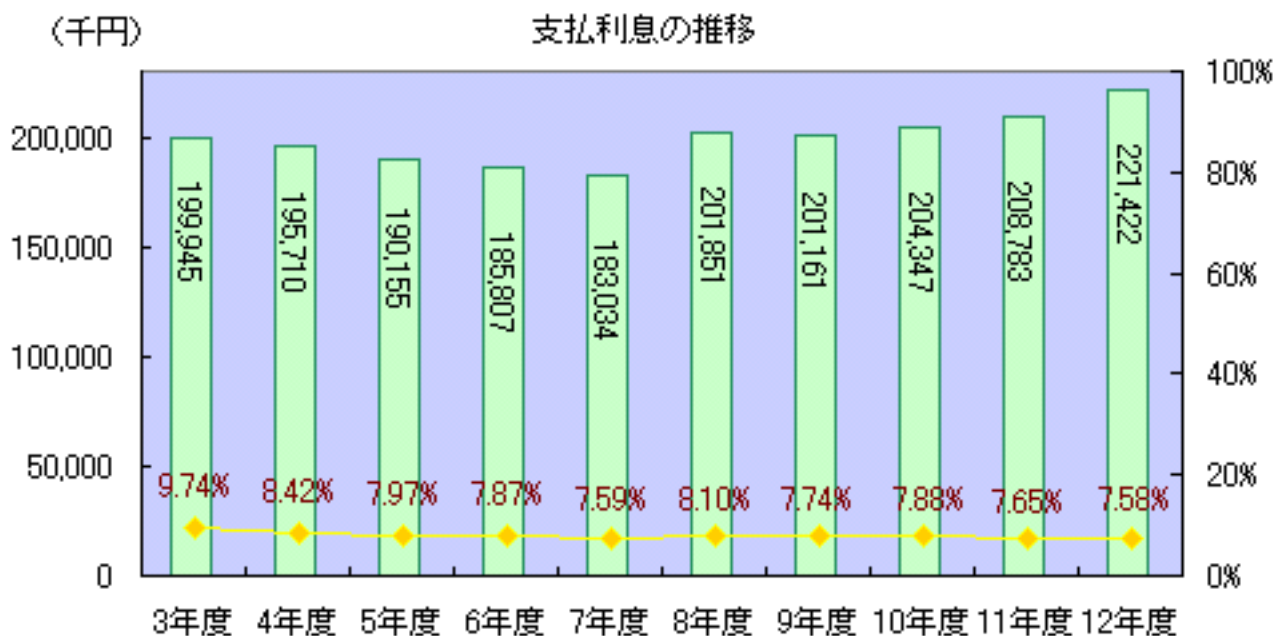




支払利息

支払利息とは・・・

企業債(借入資金) について支払う利息のことをいいます。



棒グラフが各年度の「支払利息」の金額 (単位 千円) を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「支払利息」の割合 (%) を表しています。

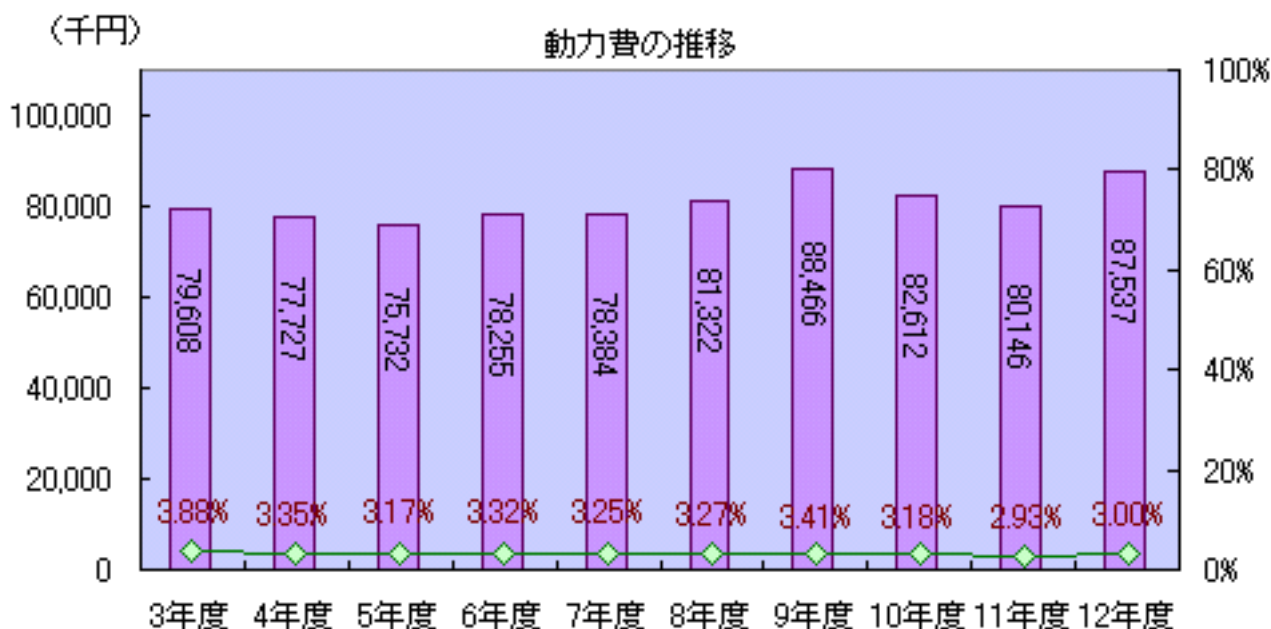




動力費

動力費 とは・・・

水道施設の機械装置等の運転に必要な電力料などともなう費用のことをいいます。



棒グラフが各年度の「動力費」の金額 (単位 千円) を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「動力費」の割合 (%) を表しています。

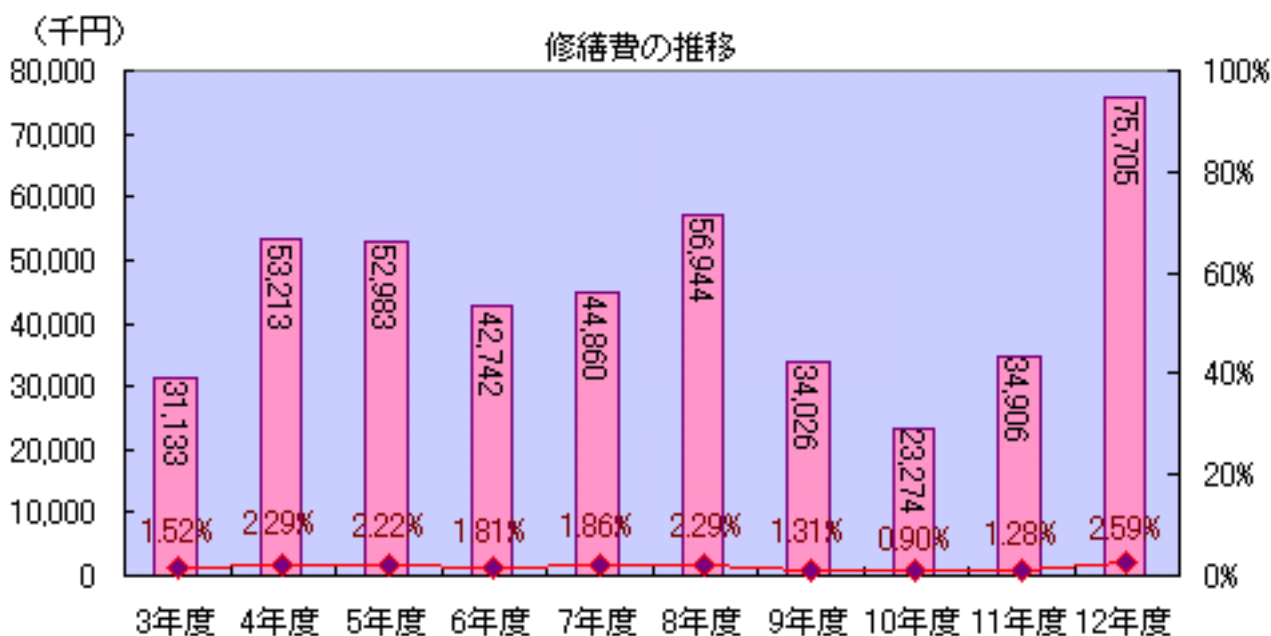




修繕費

修繕費とは・・・

水道施設（配水タンクやポンプなど）の維持修繕に要する費用のことをいいます。



棒グラフが各年度の「修繕費」の金額（単位 千円）を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「修繕費」の割合（%）を表しています。

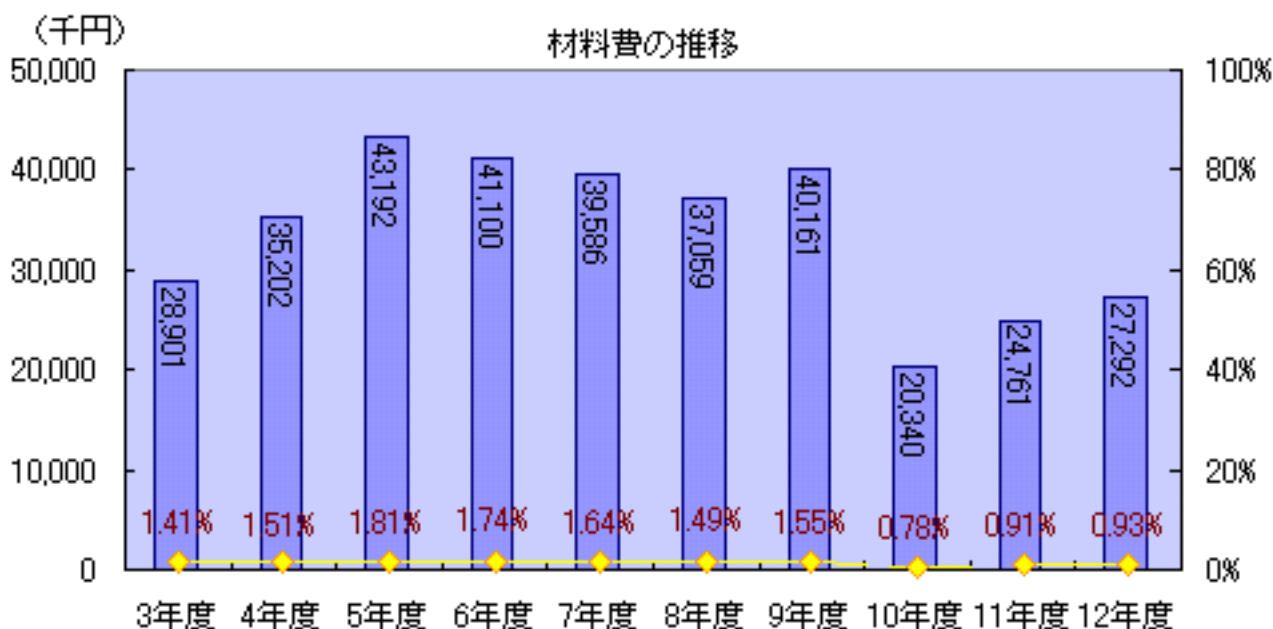




材料費

材料費とは・・・

水道施設の維持及び作業に要する材料費のことをいいます。



棒グラフが各年度の「材料費」の金額 (単位 千円) を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「材料費」の割合 (%) を表しています。

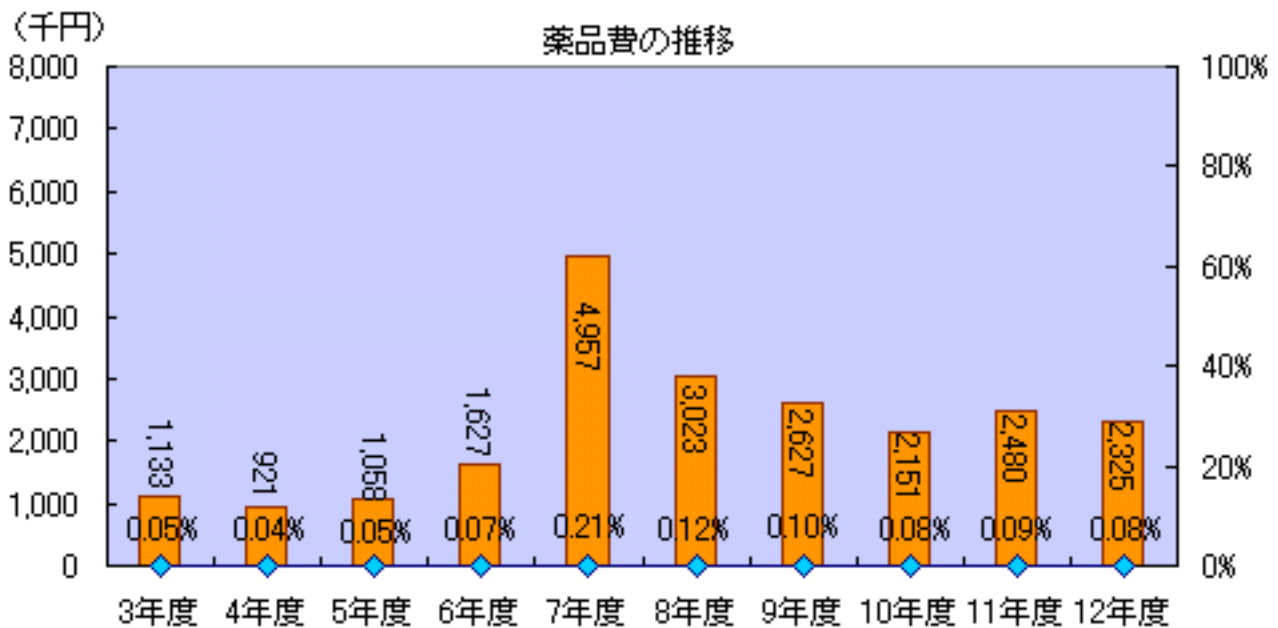




薬品費

薬品費とは・・・

浄水場において川から汲み上げた水を飲料水にする行程で使用したり、安全な水をお届けするための水質管理などに要する薬品の費用のことをいいます。



棒グラフが各年度の「薬品費」の金額（単位 千円）を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「薬品費」の割合（%）を表しています。

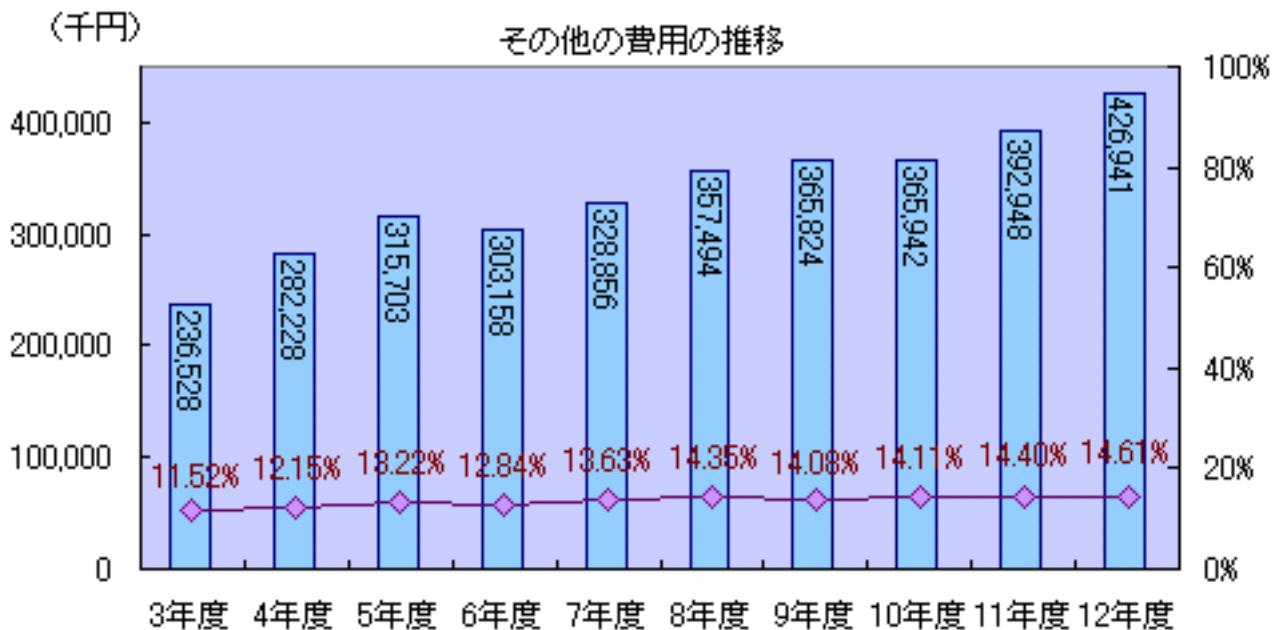




その他の費用

その他の費用とは・・・

受水費・減価償却費・職員給与費・支払利息・動力費・修繕費・材料費・薬品費以外の費用のことをいいます。



棒グラフが各年度の「その他の費用」の金額（単位 千円）を表しています。
 線グラフが各年度の「全費用」に対する「その他の費用」の割合（%）を表しています。

